

今後の気象見通し

(株式会社応用気象エンジニアリング)

2011年夏(7月~9月)の天気の動向

2011年7月15日

株式会社 応用気象エンジニアリング

気象予報士 渡邊 道夫

各地域の、今年の梅雨入り

地 方	梅雨入り日	平年差	平 年	昨 年
沖 縄	4月30日頃	9日早い	5月 9日頃	5月 6日頃
奄 美	4月30日頃	11日早い	5月11日頃	5月 6日頃
九州南部	5月23日頃	8日早い	5月31日頃	6月12日頃
九州北部	6月 5日頃	平年と同じ	6月 5日頃	6月12日頃
四 国	5月26日頃	10日早い	6月 5日頃	6月13日頃
中 国	5月26日頃	12日早い	6月 7日頃	6月13日頃
近 畿	5月26日頃	12日早い	6月 7日頃	6月13日頃
東 海	5月27日頃	12日早い	6月 8日頃	6月13日頃
関東甲信	5月27日頃	12日早い	6月 8日頃	6月13日頃
北 陸	6月16日頃	4日遅い	6月12日頃	6月13日頃
東北南部	6月21日頃	9日遅い	6月12日頃	6月14日頃
東北北部	6月21日頃	7日遅い	6月14日頃	6月16日頃

各地域の、今年の梅雨明け(7月13日現在)

地 方	梅雨明け日	平年差	平 年	昨 年
沖 縄	6月 9日頃	14日早い	6月23日頃	6月19日頃
奄 美	6月22日頃	7日早い	6月29日頃	7月15日頃
九州南部	6月28日頃	16日早い	7月14日頃	7月20日頃
九州北部	7月 9日頃	10日早い	7月19日頃	7月17日頃
四 国	7月 8日頃	10日早い	7月18日頃	7月17日頃
中 国	7月 8日頃	13日早い	7月21日頃	7月17日頃
近 畿	7月 8日頃	13日早い	7月21日頃	7月17日頃
東 海	7月 8日頃	13日早い	7月21日頃	7月17日頃
関東甲信	7月 9日頃	12日早い	7月21日頃	7月17日頃
北 陸	7月 9日頃	15日早い	7月24日頃	7月17日頃
東北南部	7月11日頃	14日早い	7月25日頃	7月18日頃
東北北部	7月11日頃	17日早い	7月28日頃	7月18日頃

今年の台風の動向(7月13日現在)

台 風	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6個
今 年	—	—	—	—	2	3	(1)						6個

6月までの平均発生数 … 4.1個

6月までの今年の発生数 … 5個

発生数は、
ほぼ平年通り

この夏(7月～9月)の天気の動向

○全般の傾向(6月23日:気象庁発表3か月予報)

- ・ エルニーニョ又はラニーニャが発現する**可能性は低い**。
- ・ 太平洋高気圧の勢力は、7月は平年並みだが、**8月は弱い**。



7月・・・北日本と東日本の日本海側、沖縄・奄美は**曇りや雨が多い**。東日本の太平洋側と西日本は、平年に比べて**晴れの日が多い**。

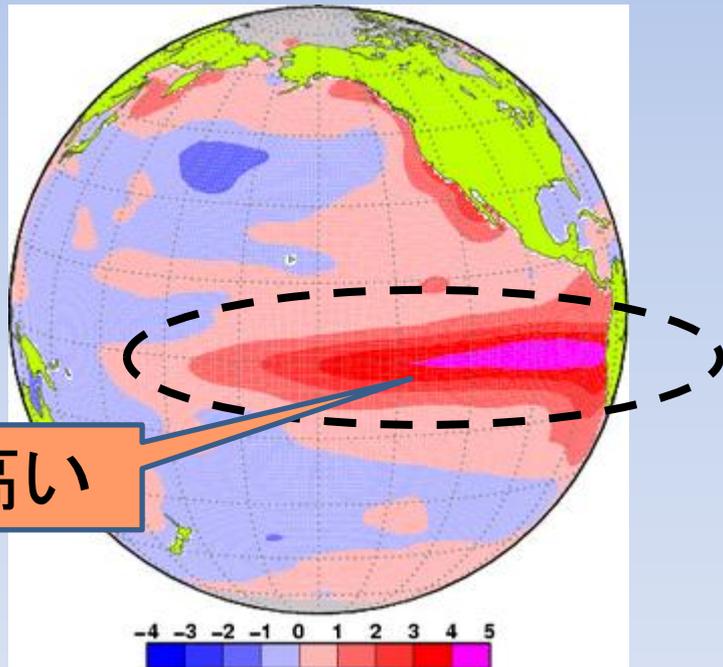
8月・・・北日本は周期変化。その他の地域は、平年に比べて**晴れの日が多い**。
全国的に、雷雨の発生しやすい時期がある。

9月・・・全国的に、周期変化。

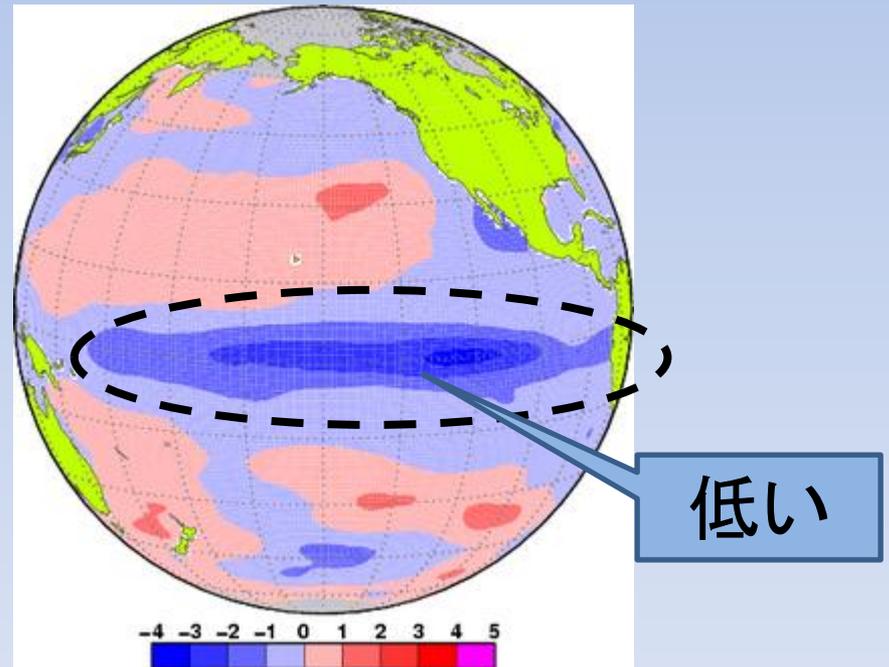
エルニーニョ現象とラニーニャ現象

エルニーニョ現象とは、太平洋赤道域の日付変更線付近から、南米のペルー沿岸にかけての広い海域で、海面水温が平年に比べて高くなり、その状態が1年程度続く現象。

逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象はラニーニャ現象という。

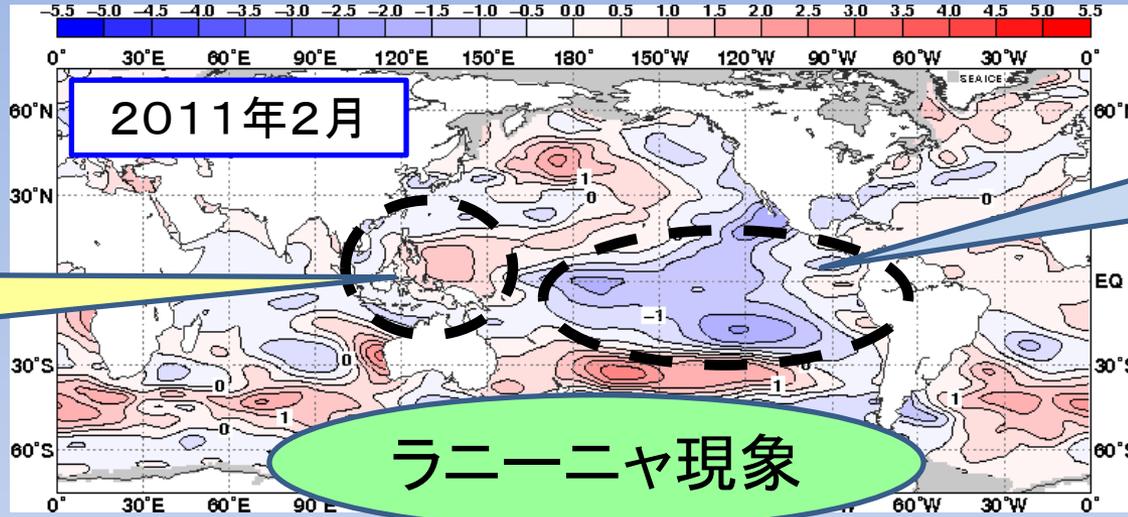


1997年11月の月平均海面水温平年偏差
エルニーニョ現象



1988年12月の月平均海面水温平年偏差
ラニーニャ現象

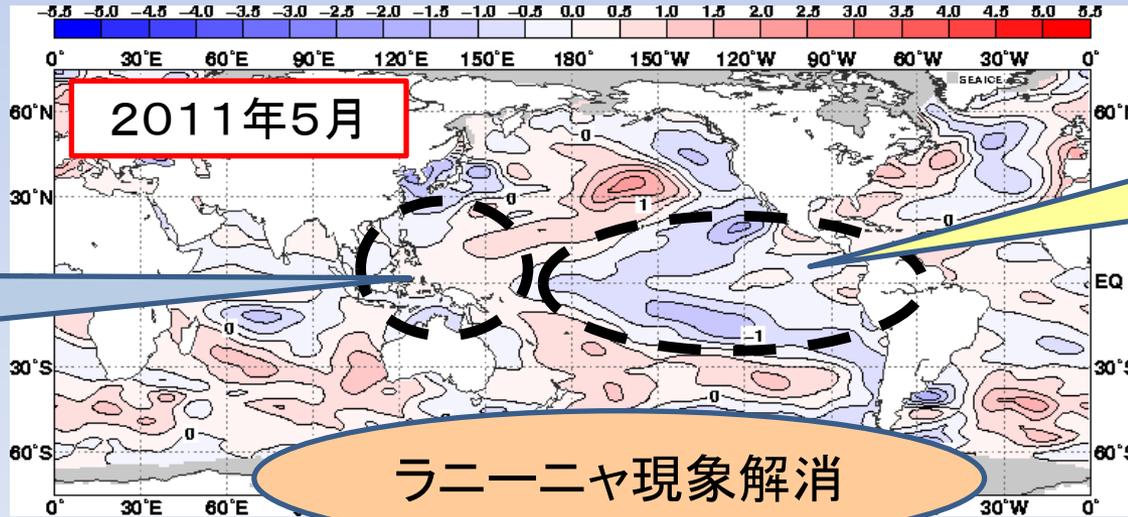
海水温の状況



水温
高い

水温
低い

ラニーニャ現象

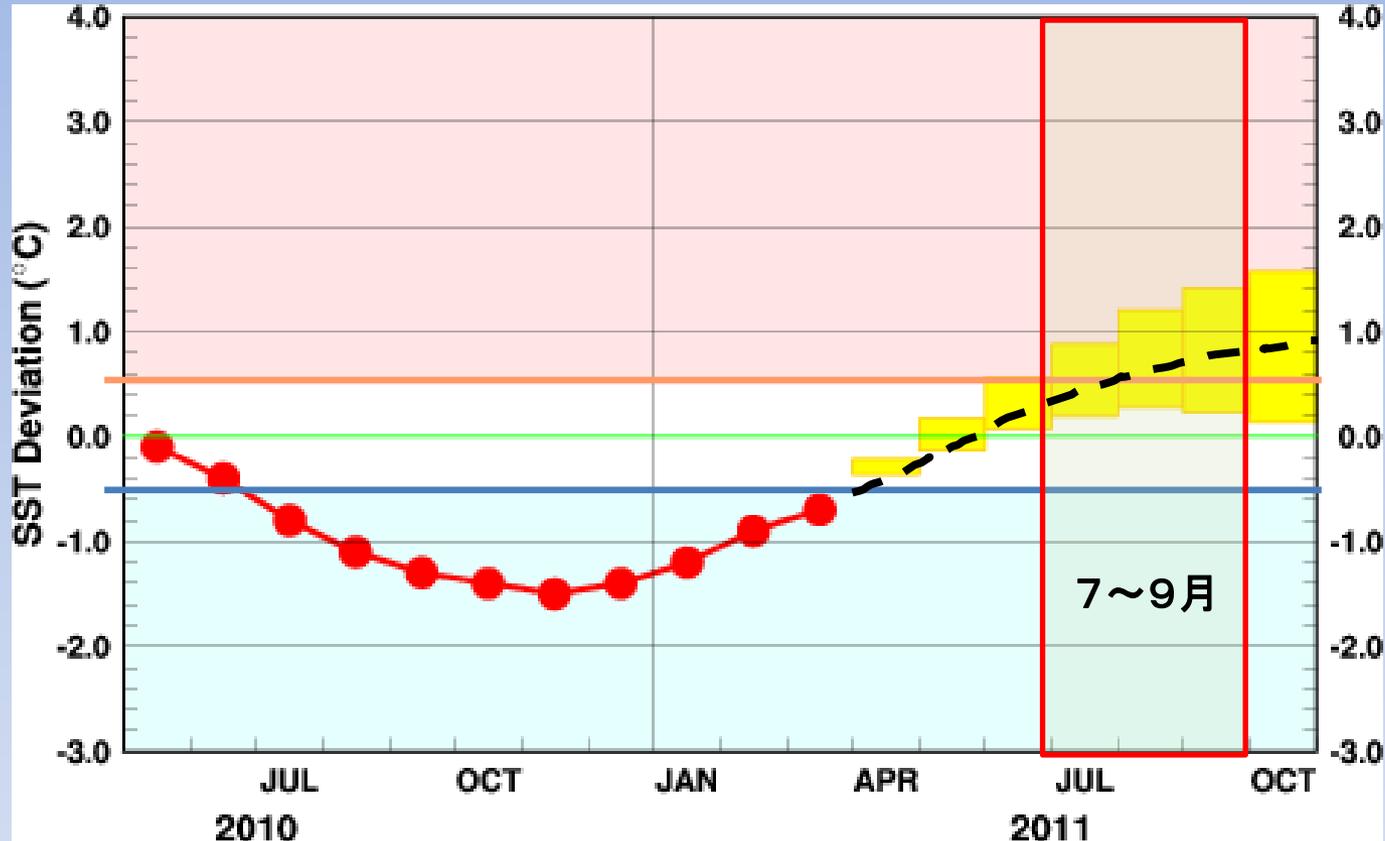


水温
低下

水温
上昇

ラニーニャ現象解消

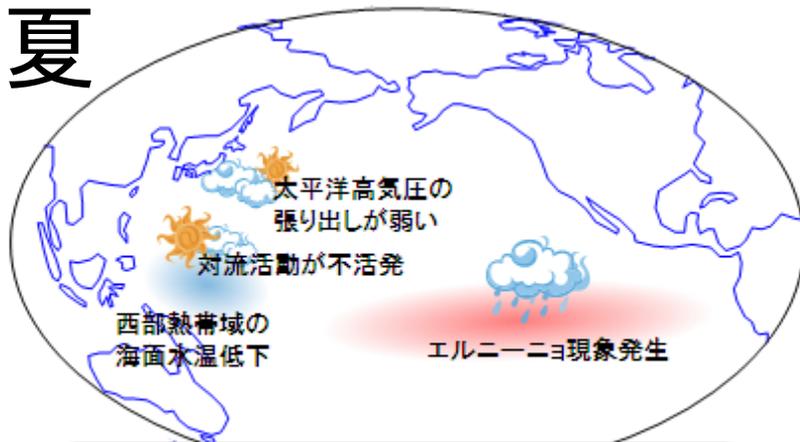
エルニーニョ監視海域の海面水温の予測



エルニーニョ監視海域の海面水温が、夏から秋にかけて**基準値に近い値**かまたは**基準値より高い値**で推移すると予測しているが、予測期間後半の不確実性は大きい。

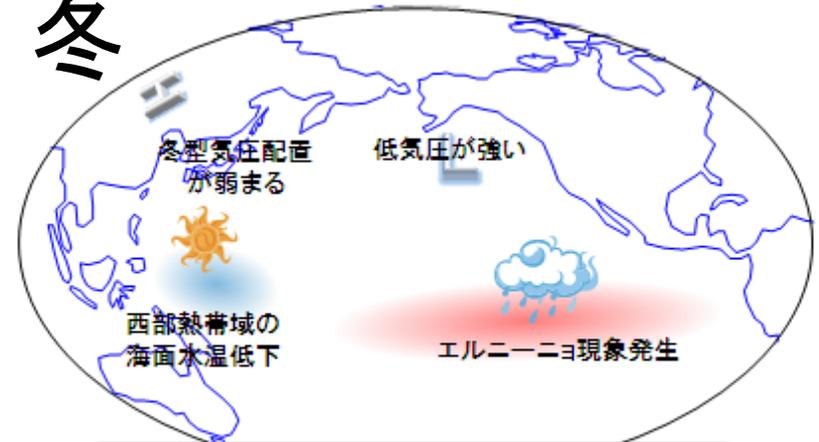
エルニーニョ現象と日本の天候

夏



エルニーニョ現象の夏季の天候への影響

冬

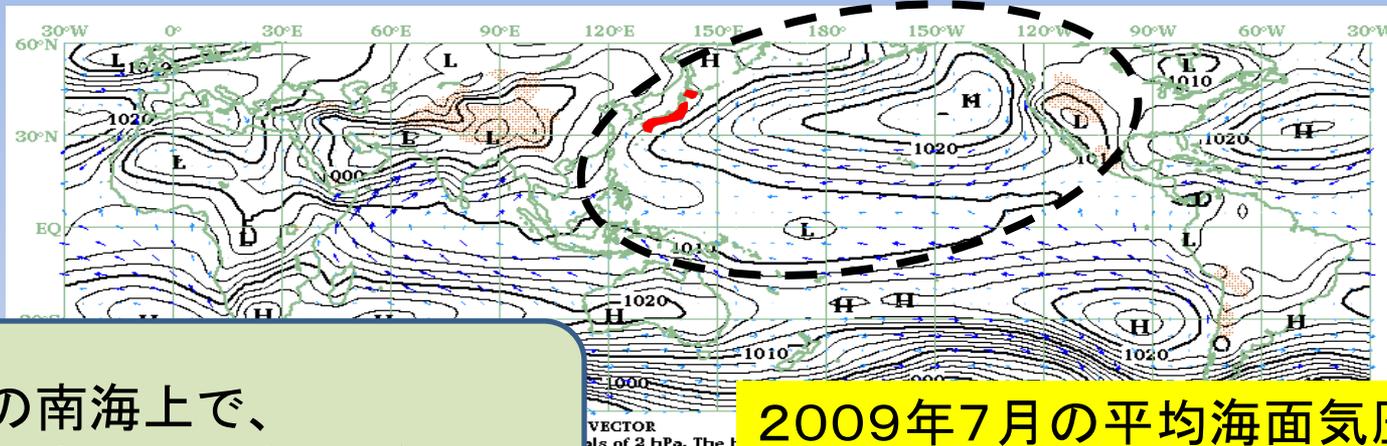


エルニーニョ現象の冬季の天候への影響

エルニーニョ現象が発生すると、西太平洋熱帯域の海面水温が低下し、西太平洋熱帯域で積乱雲の活動が不活発となる。このため日本付近では、夏季は太平洋高気圧の張り出しが弱くなり、低温、多雨、寡照となる傾向にある。

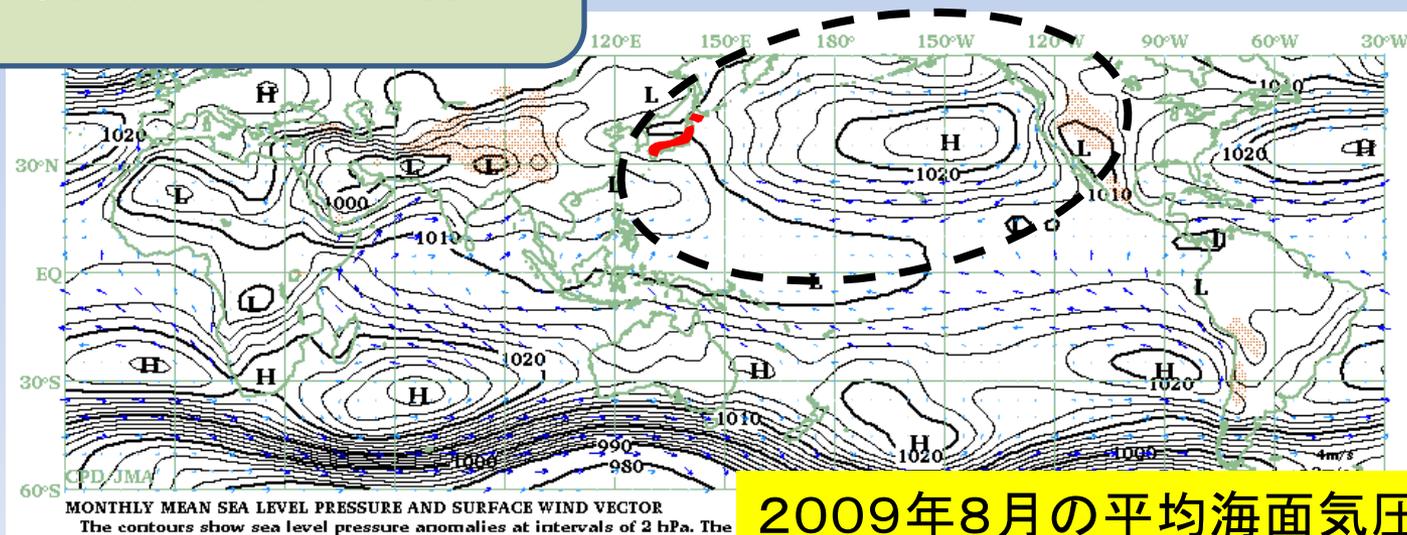
エルニーニョ現象発生年の天候

○2009年夏～2010年冬・春



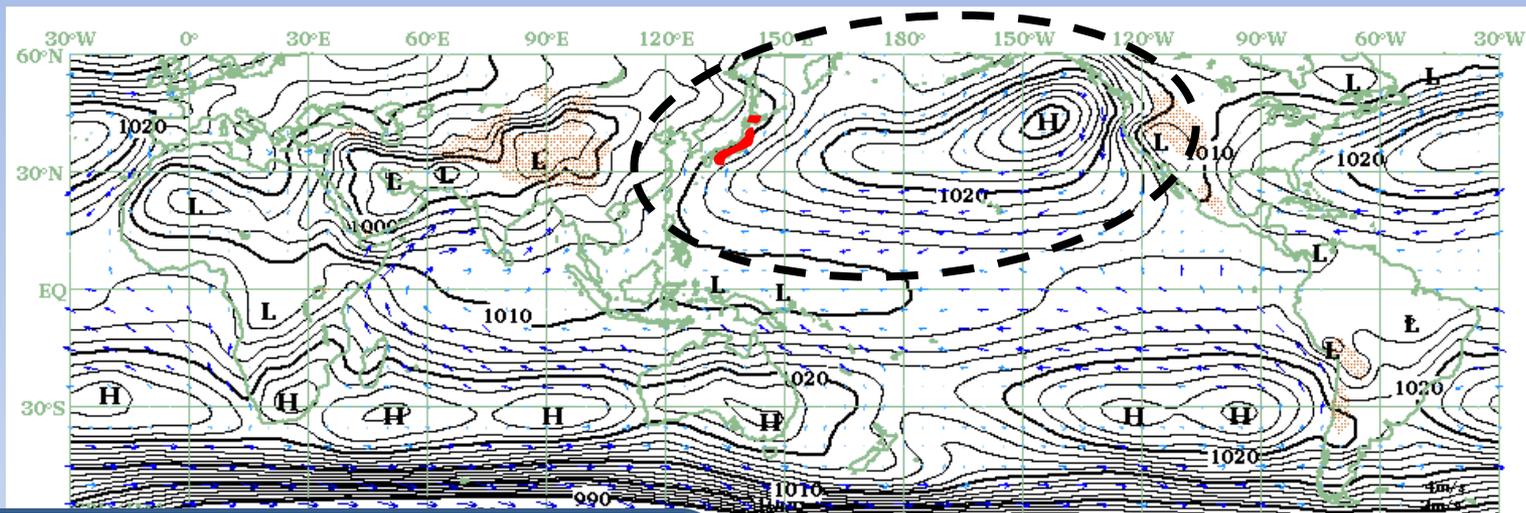
2009年7月の平均海面気圧

日本の南海上で、
太平洋高気圧の勢力が弱い



2009年8月の平均海面気圧

○猛暑だった昨年(2010年)夏の太平洋高気圧



Pa. The base pe

2010年7月の平均海面気圧

日本の南海上まで、
太平洋高気圧の勢力が強い

7月の天気の動向

- 太平洋高気圧の西への張り出しが弱い。
- ・北日本は、数日の周期で天気が変わる。
 - ・東日本の日本海側は、平年と同様に曇りや雨の日が多い。
 - ・東日本の太平洋側と西日本は、平年に比べ晴れの日が多い。
 - ・沖縄・奄美は、平年に比べ曇りや雨の日が多い。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	高い	並み	並み
	太平洋側			
東日本	日本海側	高い	並み	並み
	太平洋側		並みか少ない	並みか多い
西日本	日本海側	高い	並みか少ない	並みか多い
	太平洋側			並みか多い
沖縄・奄美		並み	並みか多い	並みか少ない

8月の天気の動向

○太平洋高気圧の、本州方面への張り出しは弱い。

- ・北日本は、数日の周期で天気が変わる。
- ・東日本と西日本及び沖縄・奄美は、平年同様に

晴れの日が多い。

- ・全国的に、雷雨の発生しやすい時期がある。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
東日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
西日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並み	並み	並み

9月の天気の動向

○全国的に周期変化。

- ・北日本、東日本及び西日本は、数日の周期で天気が変わる。
- ・沖縄・奄美は平年と比べて、曇りや雨の日が多い。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側			
東日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側			
西日本	日本海側	並みか高い	並み	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並み	並みか多い	並みか少ない

この夏の予報(まとめ)

- エルニーニョ発生の可能性あり。
- 日本の南海上では、太平洋高気圧の勢力が弱い。
- 気温は高めだが、去年のような猛暑は続かない。
- 梅雨前線の活動は不活発。



この夏の天気の詳細

東日本の太平洋側と西日本は、**降水量が少ない**。

注意点・・・ダムの渇水による水不足

大気の状態が不安定で、**雷雨が多い**。

注意点・・・局地的な洪水など

終わり

※本資料は、気象庁発表資料を基に作成しました。